

2022年度 第2四半期 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

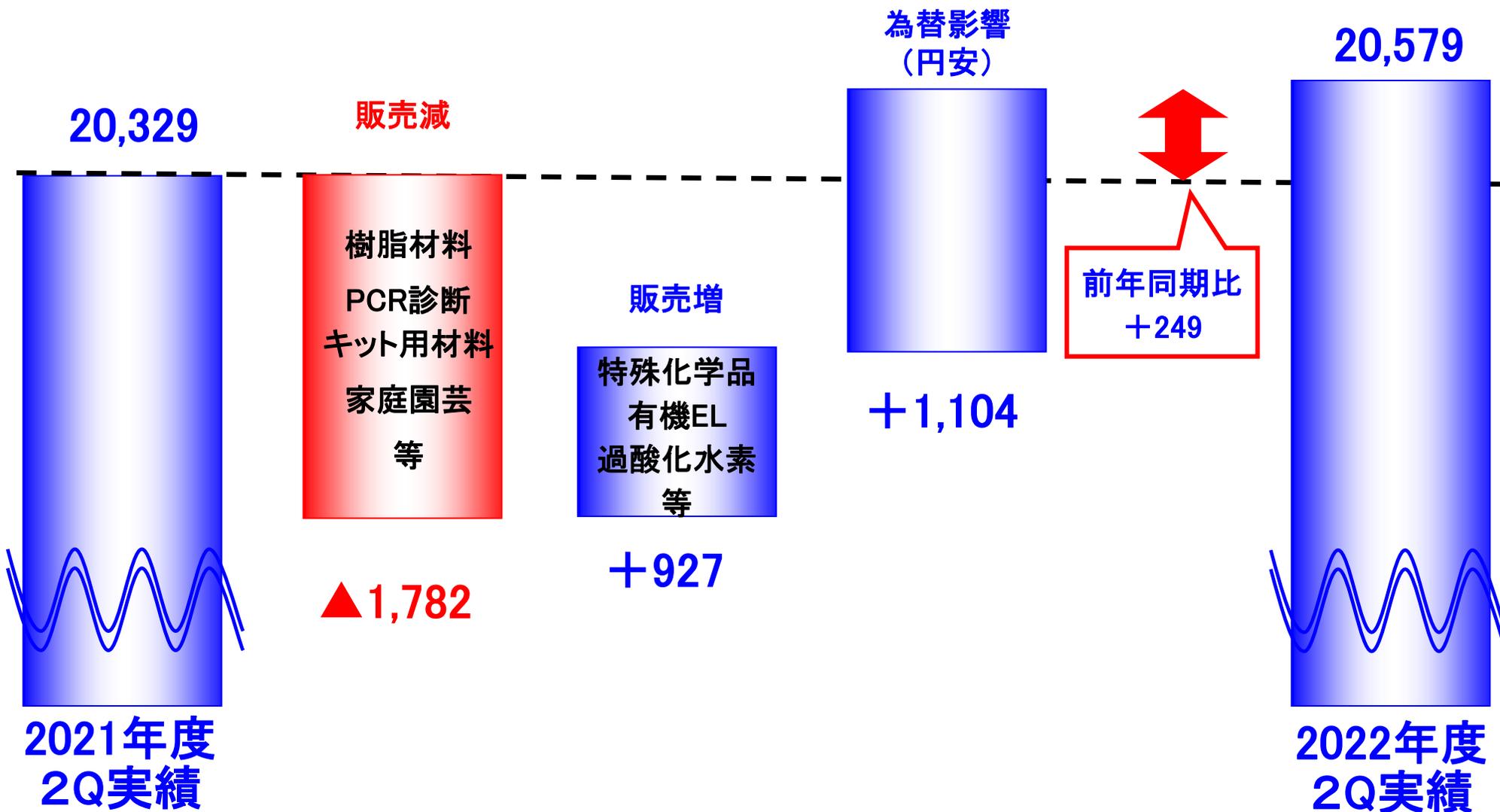
セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	輸送材料、発光材料、表面保護材料、PCR診断キット用材料
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建築材料	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業、ISOタンクコンテナ保管事業

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

連 結	2021年度	2022年度	前年同期比
売 上 高	20,329	20,579	+ 249
営 業 利 益	3,361	1,963	▲ 1,398
経 常 利 益	3,498	2,526	▲ 972
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,767	1,398	▲ 369

為替レート \$=110.13円 \$=135.31円 \$=ドル
 W=0.0965円 W=0.1029円 W=韓国ウォン

(単位:百万円)



- ・**売上高**は、機能性色素、アグロサイエンスが減少したものの、機能性樹脂、基礎化学品、物流関連の増加および、円安の効果により、249百万円の**増収**
- ・**営業利益**は、売上高が増加したものの、販売費および一般管理費や売上原価の増加により、1,398百万円の**減益**
- ・**経常利益**は、営業利益の減少により、972百万円の**減益**
- ・**親会社株主に帰属する当期純利益**は、経常利益の減少により、369百万円の**減益**

(単位:億円)

科目	2022年 3月末	2022年 9月末	増 減
(流動資産)	340	343	+3
現預金	109	117	+8
売上債権	124	109	▲14
棚卸資産	93	107	+14
その他	13	8	▲4
(固定資産)	324	328	+3
有形・無形 固定資産	226	234	+7
投資有価証券	79	77	▲1
その他	17	15	▲1
合計	664	671	+7

科目	2022年 3月末	2022年 9月末	増 減
(負債)	185	188	+2
仕入債務	47	46	▲1
有利子負債	63	68	+4
その他	74	73	▲1
(純資産)	479	483	+4
資本金	111	111	-
資本剰余金	87	79	▲7
利益剰余金	168	180	+11
その他	111	111	+0
合計	664	671	+7

財務指標

・自己資本比率	62.3%	⇒	62.3%
・D/Eレシオ	0.15倍	⇒	0.16倍

有利子負債 63億円 ⇒ 68億円

現預金 109億円 ⇒ 117億円

第2四半期累計

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

セグメント	2021年度	2022年度	前年同期比
機能性色素	9,073	8,593	▲ 480
機能性樹脂	5,067	5,708	+ 640
基礎化学品	3,379	3,473	+ 93
アグロサイエンス	1,842	1,765	▲ 76
物流関連	876	1,001	+ 124
その他	88	37	▲ 51
合計	20,329	20,579	+ 249

第2四半期累計

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

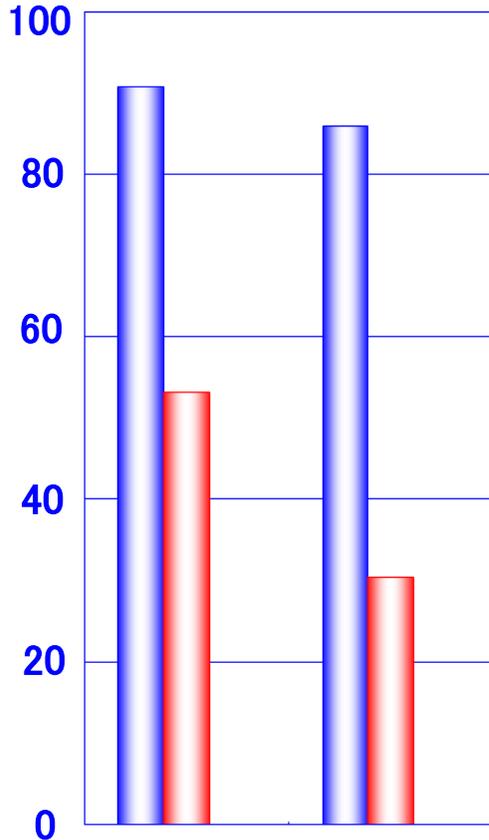
セグメント	2021年度	2022年度	前年同期比
機能性色素	2,660	1,520	▲ 1,140
機能性樹脂	343	443	+ 99
基礎化学品	118	▲ 322	▲ 440
アグロサイエンス	73	145	+ 71
物流関連	150	170	+ 20
その他	14	5	▲ 8
合計	3,361	1,963	▲ 1,398

売上高
(億円)

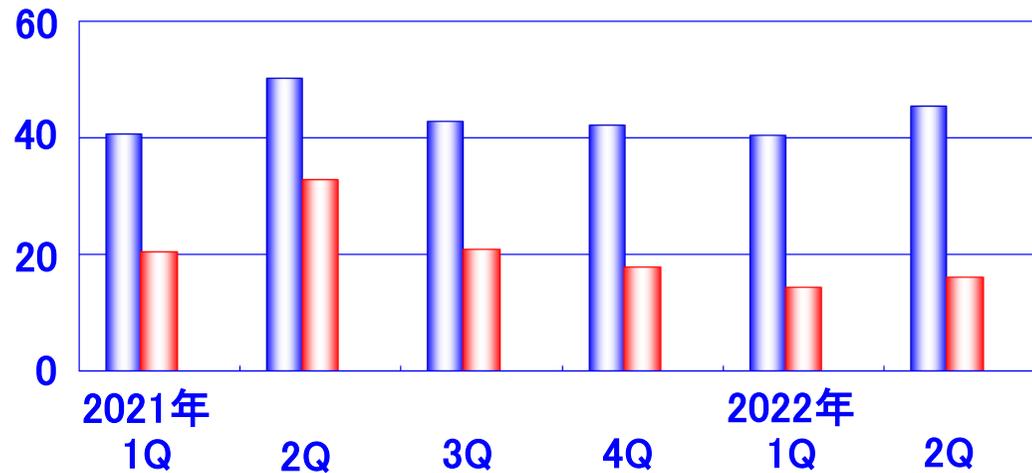
営業利益
(億円)

売上高
(億円)

営業利益
(億円)

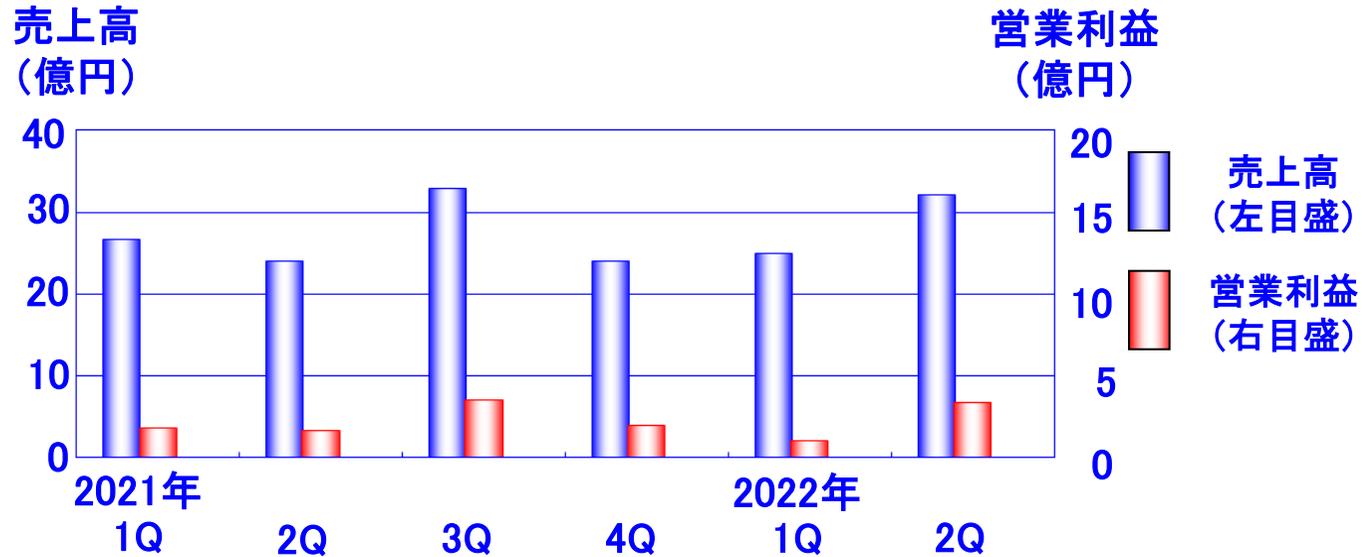
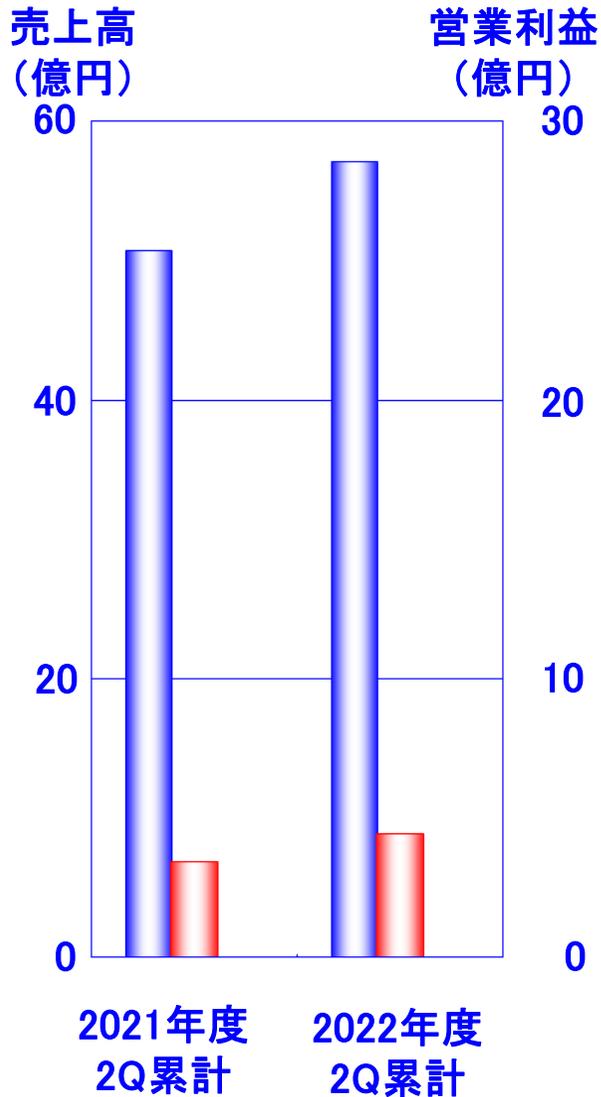


2021年度 2Q累計 2022年度 2Q累計



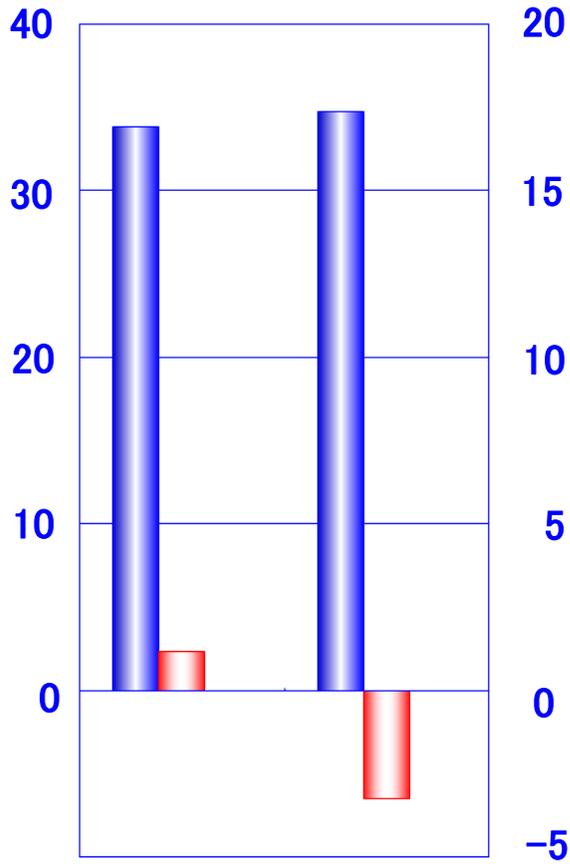
売上高 (左目盛)
営業利益 (右目盛)

有機EL材料	<ul style="list-style-type: none"> スマートフォン向けディスプレイ分野においては、有機ELパネルの需要が引き続き増加したが、当社の子会社におけるPCR診断キット用材料が、前年度での新型コロナウイルス向け需要が大幅に減少し、有機EL材料事業全体としては減収 	
色素材料	<ul style="list-style-type: none"> 繊維向け染料の需要が減少したが、文具染料でのコロナ禍からの需要回復や、アルミ着色用染料のスマートフォン向け販売が引き続き好調に推移したことにより増加し、前年同期並み 	
イメージング材料	<ul style="list-style-type: none"> プリンター向け材料の需要が海外向けを中心に好調に推移し、大幅な増収 	



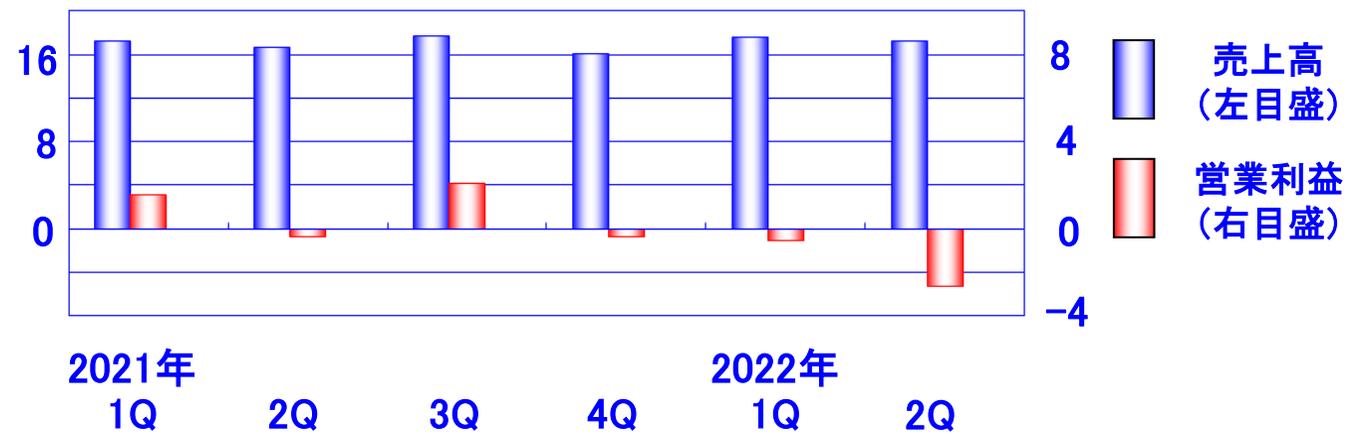
樹脂材料	<ul style="list-style-type: none"> ・タイヤ用接着剤は中国でのロックダウン等に伴う需要減少により減収となったが、海外向けを主とするウレタン原料の販売好調により、樹脂材料事業全体としては大幅な増収 	▲
特殊化学品	<ul style="list-style-type: none"> ・医薬向け及び剥離剤向け等が好調に推移したことから、大幅な増収 	▲
建築材料	<ul style="list-style-type: none"> ・材料販売は前年同期並みに推移したが、大型防水工事の受注減により、減収 	▼

売上高 (億円) 営業利益 (億円)



2021年度 2Q累計 2022年度 2Q累計

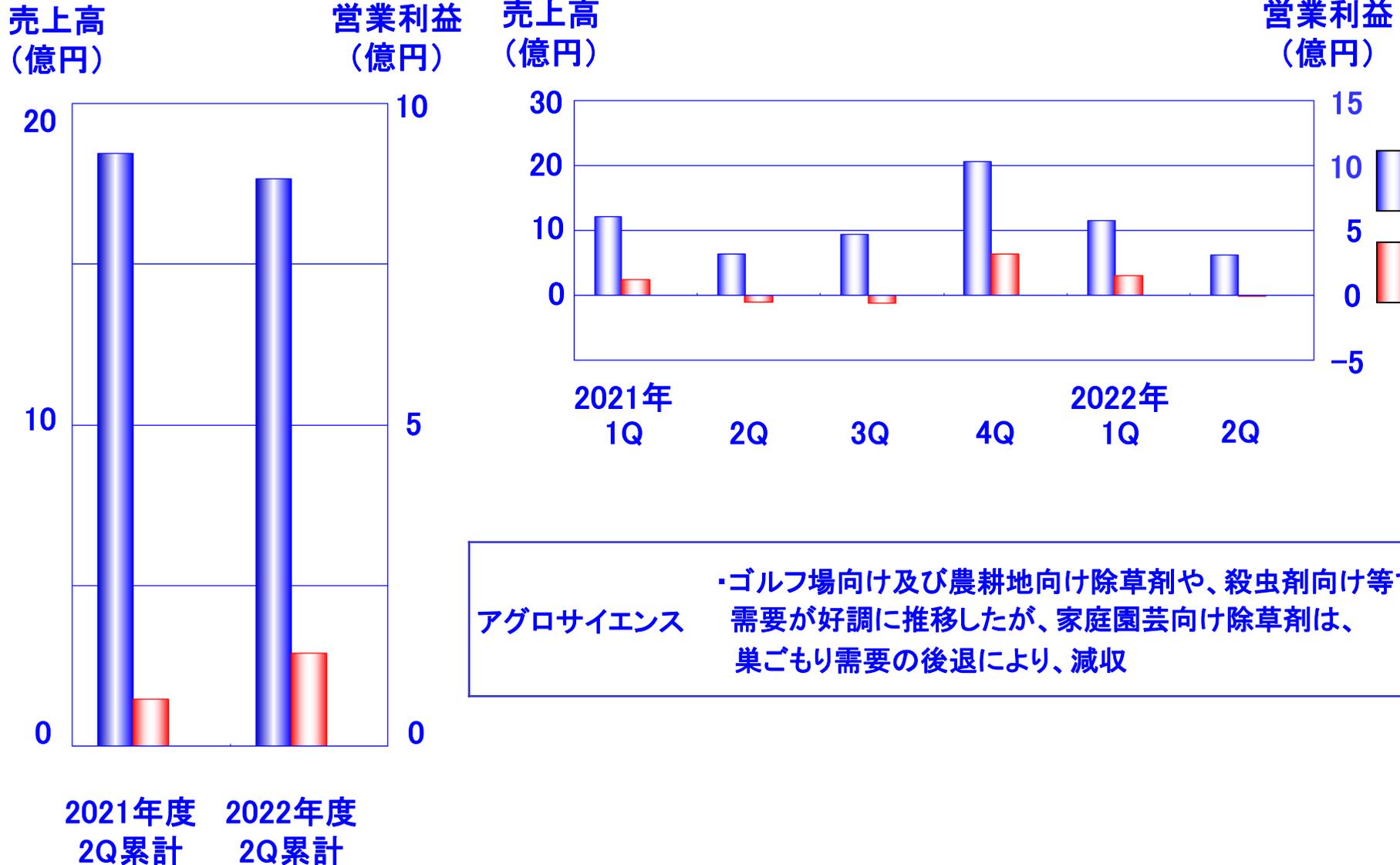
売上高 (億円) 営業利益 (億円)



過酸化水素及び誘導品（※） ・経済活動の回復に伴う紙パルプ向け需要が堅調に推移したことに加え、工業薬品向けで半導体市場を中心に需要が好調に推移したことから、増収

※過炭酸ナトリウム、過酢酸等





アグロサイエンス

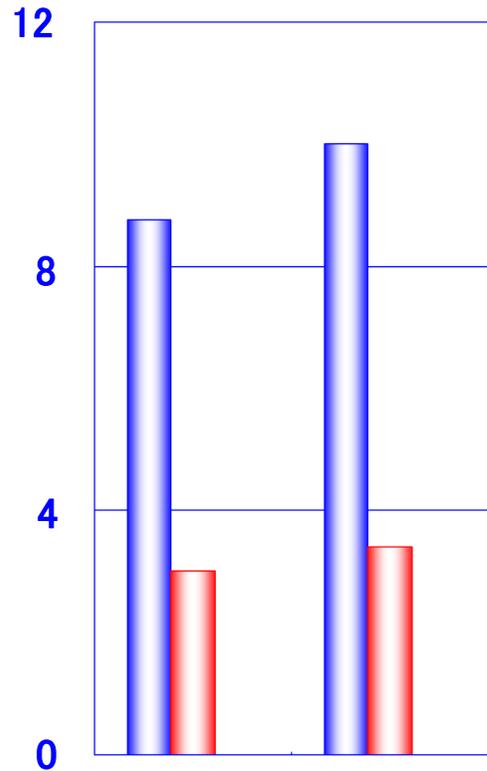
- ・ゴルフ場向け及び農耕地向け除草剤や、殺虫剤向け等での需要が好調に推移したが、家庭園芸向け除草剤は、巣ごもり需要の後退により、減収

売上高
(億円)

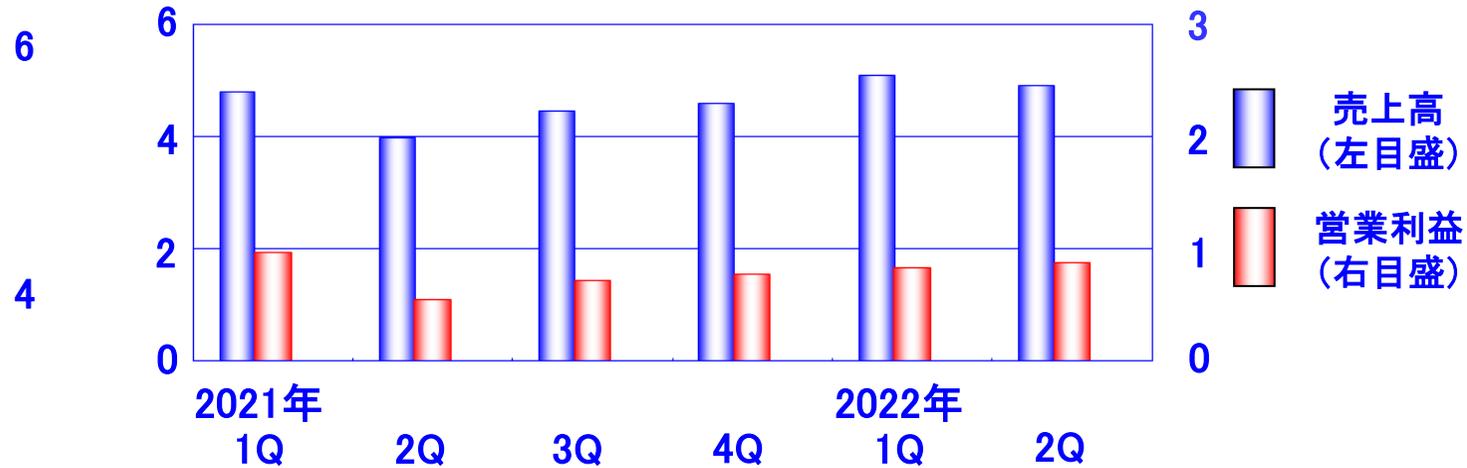
営業利益
(億円)

売上高
(億円)

営業利益
(億円)



2021年度 2Q累計 2022年度 2Q累計



物流関連 ・国内外での経済活動の回復に伴い輸出取扱量が好調に推移したこと等にて、大幅な増収



・連結業績予想(5月16日時点)と進捗率 (単位:百万円)

科目	2022年度 業績予想	2022年度 第2四半期累計	進捗率
売上高	44,000	20,579	46.8%
営業利益	4,300	1,963	45.7%
経常利益	4,300	2,526	58.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,400	1,398	58.3%

・配当予想

年間配当：65円／株

＜中間：32.5円／株、期末：32.5円／株＞

「ステークホルダーへの還元に関する方針」に基づき内部留保と株主の皆様への還元のバランスを適切に図ることとしております。

配当については、株主資本配当率(DOE)の向上を長期的な課題と捉え、且つ、安定的・継続的で適正な株主還元の実施を重視し、2022年度の配当については、2021年度比で年間5円／株の増配を予定しております。

配当の推移

配当(円/株)

